

令和6 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価		
作成日		令和7年3月30日
法人名		園 名
社会福祉法人浄元福祉会		認定こども園 あかさかルンビニー園
まとめ		全体平均 3.80
第2章第2節 乳児期の園児 の保育	・一人ひとりのペースに合わせながら寄り添い、声掛けしながら心地よく過ごせるように努力した。 ・天気、気温が良い日にはたくさん体を動かせるように園庭やテラス、芝生広場で伸び伸びと遊べるようにした。 ・乳児期の発達は個人の差が大きくて、把握して接していくことが難しく、丁寧な関わり方が不十分な場面があった。 ・保育教諭自身が時間に追われることなく、ゆったりとした気持ちで愛情のこもった応答的な関わりを持てるように心がけていく大切さを感じる。園で過ごす時間を心身とともに満たされ、穏やかで安定した生活となるように努力していきたい。	
第2章第3節 満1歳以上満3 歳未満の園児 の保育	・自分でやりたいという気持ちに共感し、温かく長い目で見守ることを家庭とも共有していくことを大切にする。 ・園児がのびのび体を動かし、自分の好きな遊びを見つけて、夢中になって遊びこめる環境を大切にしていきたい。 ・異年齢児との関わりがあまりでいていないのももっと増やしていきたい。	
第2章第4節 満3歳以上の 園児の教育及 び保育	・様々な素材を使って園児が夢中になって遊びこめるような環境を整え、自ら手を伸ばし繰り返し遊べるようにしたい。 ・食の細い子や好き嫌いでなかなか食べれない子が多かったので、食育活動で食べ物への興味を増す努力をすべかった。 ・自然の中でのびのび体を動かして遊ぶことにより、体力アップにつながる。子どもたちと遊びを考える。 ・園児と保育者相互の信頼関係をしっかりと築きながら、共感や思いやりの重要性を伝えていく。 イメージしたこと、考えたことを言葉で表現する環境を作っていく。思いを伝えることが大事と気づいてもらう。 ・生命のあるものを大切にしようと言った気持ちも持つように共有しながら心の育ちも大切にしていきたい。 ・子どもたちが自分の意見を言葉や絵にしたり表現することで、自信を持ち、私達も子どもたちに敬意をもって接する。 ・いろんな表現で気持ちを伝えて来る子どもが多く、出来るだけその思いに応えたいという気持ちで関わってきた。	
第2章第5節 教育及び保育 の実践に関わ る配慮事項	・園児の健康を見守り、家庭からの体調の心配事など保育者間で共有し全体で見守り、何かあれば速やかに対応出来た。 ・個性を大切に、「やってみたい」「出来た」の気持ちを味わいながら夢中で遊びこめる環境作りを心がける。 ・子どもたちが多くの温かいまなざしの中で成長し、人との関わりや挑戦していこうとする姿を大切にしたい。 ・疾病への迅速な対応が出来るよう、看護師に判断を仰ぎ、適切な処置や対応をとっていく。 ・自分の思いを言葉で伝えることが未熟な子どもたちに言葉で表現することが大事と伝えることが難しかった。	
第3章 健康及び安全	・園児の状態をしっかりと把握し、迅速に対応できるよう職員間での共通理解をしっかりするよう心掛けた。 ・年齢に応じたイベントを企画して実行。定期的に部会を開き、問題点があれば指導計画を検討し、改善している。 ・夏野菜栽培、稲作、味噌づくり、餅つき、焚火での焼き芋、羽釜でごはんなど感謝していただく食育活動ができた。 ・毎月の安全点検日に、園内の遊具や、壁、柵などを見て回り、危険な箇所があれば迅速に対応する。修理の記録もする。 ・毎月避難訓練を実施。地震や水害についても、保護者の方が無関心の場合もあるので子どもが知識を持つことが大事。	
第4章 子育ての支援	・孤立する母親が年々増えていく中で、誰でも通園制度をいち早く取り入れ、一年を通して著しく成長がみられるという結果をもたらした。親の就労に関わらず、開かれた園として、多くの方に利用してもらい、不安をなくしてほしい。 ・毎月子育て支援を開催しているが、少子化で利用数が減少しているので、もっと広報して知ってもらえるようにする。 ・妊娠中のママからでも相談出来るような環境や、雰囲気を作っていく。リフレッシュの場も提供する。	
第5章 職員の資質 向上	・必ず報告連絡を怠らず、気になることは相談しやすい雰囲気を作っている。 ・子育て中や皆、家庭をもっているので、本人や家族の体調不良でも互いに補いあい、休暇がとれるようにする。 ・研修参加は自ら学びたい、スキルアップを望む人を優先する。キャリアアップのバランスも見えていく。 ・園内研修を開催し、みんなで把握すべきこと(子どもの権利条約についてなど)、共通理解を目指す。	
総合	子ども一人ひとりの人格を尊重し、その子に合った成長や個性を大切にしていきたいという自己評価が最も多かった。子どもの権利条約を踏まえて、子どもの最善の利益を最優先にすることを常に心掛け、安心安全な環境を整えらるとともに、様々な体験、挑戦、じっくり考える、意見を交わすなどの機会や場所を作っていきたいと思います。子どもたちは遊びを通して豊かな学びや探求心を養い、思いやりや命を大切にしていくことの大切さを生活の中から学んでいきます。また子ども同士の関わりの中かで嬉しい、楽しい、憧れ、譲り合いなどの非認知能力、社会的情動のスキルを身に着け、これが生涯にわたって影響していくこととなります。また明日も園に行きたい！と子ども達に毎日思ってもらえる園にこれからもしていきたいと思います。	
データ表		
内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.27
「3歳未満児保育」	32	3.75
「3歳以上児保育」	52	3.73
「教育保育の配慮事項」	10	3.50
「健康・安全」	29	3.79
「子育ての支援」	4	3.75
「職員の資質向上」	7	4.00
計	149	3.80
データグラフ		